

音声告知放送システム再構築工事について

事業費 478,122,700 円
 (歳入) 緊急防災・減災事業債 478,100,000 円

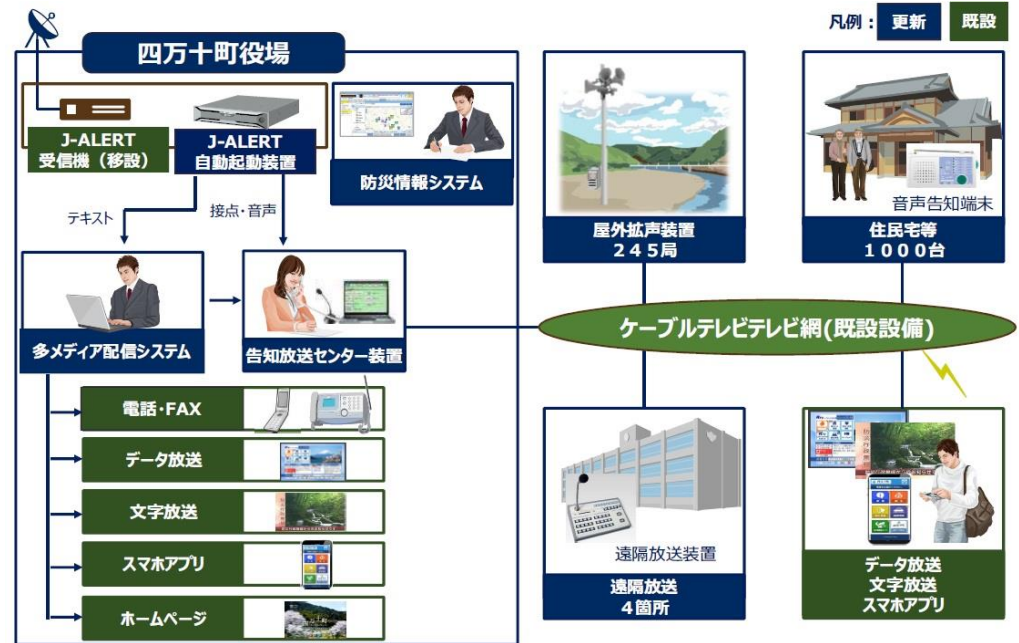
1. 事業概要

町では、町内全域にわたる一元的な情報伝達手段として平成 20 年から平成 22 年に音声告知放送システムを整備しており次の 3 点の理由から再構築を実施した。

①前設備は整備から 10 年以上が経過しており、設備の故障や不具合が度々発生するなど維持管理が困難となったため。

②前設備における難聴地域対策として実施した屋外放送局の音響伝搬調査の結果を反映して、屋外放送局の移転、スピーカーの新設及び交換、向きの変更等調整を行い難聴解消を実施。

③より多くの町民に対し迅速かつ正確に情報伝達を目的とし、屋外放送に限らずスマートフォンや家庭用電話・FAXなど多メディアに配信する機能を有するシステムの構築



2. 屋外拡声放送設備再構築工事の成果

本システムはCATV伝送路を利用し、屋外に設置されたスピーカーから音声告知放送（行政情報、防災情報、教育機関や公共施設から伝達、各種地域情報等）を拡声する。基本的にスピーカー柱、スピーカーは既設流用としたが、一部新設・位置変更・廃止・スピーカー交換を行うことにより難聴地域の解消が図られた。

3. 主な更新内容

センター設備（音声告知放送設備、防災情報システム、多メディア配信システム）/遠隔放送局4箇所/屋外拡声装置245局/屋内端末1000台